

令和2年度 第1回子ども・子育て未来会議議事録

令和2年(2020年)8月4日(火)

午前10時から

湖南省共同福祉施設 2階大ホール

■出席委員 16名

■欠席委員 2名

■事務局 8名

■議事事項

- 1) 待機児童数の報告について
- 2) 公立園の定員変更について
- 3) 子ども家庭総合センターの運営状況について
- 4) 学童保育所の利用状況について
- 5) 令和元年度 地域子ども・子育て支援事業の提供状況について
- 6) その他

■議事録

事務局	皆さんこんにちは。 まだお見えになられてない方もおられますけれども、定刻となりましたので、ただいまから、湖南省子ども・子育て未来会議を開会させていただきます。委員の皆様方には大変お忙しい中にもかかわらずご出席いただき誠にありがとうございます。 まず初めに、開会にあたりまして、湖南省長谷畑英吾よりご挨拶申し上げます。
谷畑市長	【市長あいさつ】
事務局	ありがとうございました。 続きまして、当会議の会長より一言ご挨拶をお願いいたします。
会長	【会長あいさつ】
事務局	会長ありがとうございました。 本日市長におきましては、この後、公務が入っておりますので申し訳ございませんが、これにて退席させていただきます。市長ありがとうございます

	<p>ました。</p> <p>本会議の委員の皆様には、昨年度の4月から2年の任期で委員委嘱をさせていただいておりますけれども、退職や異動等により、3人の委員の方が交代されておりますので、事務局よりご紹介させていただきます。</p> <p>【新委員紹介】</p> <p>事務局におきましても、4月に異動がありましたので自己紹介させていただきます。 【事務局自己紹介】</p>
事務局	<p>会議の前に、会議の成立の報告をさせていただきます。</p> <p>湖南省子ども・子育て未来会議条例第6条第2項におきまして、「会議は委員の半数以上が出席しなければ議事を開き議決することができない」ことにより、全員18人のうち、本日16人のご出席が確認できましたので、本会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは以後の会議の進行につきましては条例第6条第1項に基づき、会長をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは事務局より議事進行賜りましたので、会議を進めていきたいと思えます。まず議事の第1番目、「待機児童数の報告について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	【待機児童数の報告について（資料1） 説明】
会長	<p>ありがとうございました。この案件についていろんな、質問、ご意見ございましたら出していただきたいと思えます。</p> <p>無償化になりまして、その影響が大きく出てきたというように思えます。よろしいでしょうか。今こういう現状だということでございます。</p> <p>それでは、ご意見がないようでございますので、議事の二つ目に移らせていただきます。</p> <p>公立園の定員変更について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	【公立園の定員変更について（資料2） 説明】
会長	<p>利用定員の変更の議題でした。岩根保育園が120人から160人、平松こども園が160人から185人、下田こども園が140人から150人ということで、増していただくということになります。岩根が、一気に40人増えてるんですけど、受け入れは大丈夫なんでしょうか。どうですか。</p>
事務局	<p>岩根保育園は今年度、今のところ、県に届けさせていただいている120人以内で運営をさせていただいております。今後入所申し込みの中でも、増える可能性がないので、岩根につきましては来年度の160人への変更ということで、来年度職員の配置を適正化しまして、40人増にさせていただきます。と思っております。</p> <p>平松と下田のこども園につきましては、もうすでに今の届出人数を若</p>

	<p>干上回りますので、そこは現状の保育士の人数で賄えるというようなことになっておりますので、先に定員の方の増を図らせていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>はい、わかりました。委員の皆さん方からご意見ございますか。</p>
委員	<p>ちょっとお伺いをしたいんですが、下田こども園のところで、増にはなっているんですけど、待機児童が多いのが、日枝中学校とかが、以上ではなくて未満の子どもさんが多いという意味だと思んですけど、今回の案では、利用定員の増は、1号認定児の方なので、以上児ですよ、増になるのが。なぜ未満児の増ではなくて、1号認定児の増にされて、定員を増やされるということなんでしょうか。</p> <p>定員が、今の待機児童は未満児のようになっているんですけど、今後、以上児の方がたくさん増えるということの見込みでということですか。その辺あたりを聞かせていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>今のご質問ですけれども、来年度以降の子どもの人数というようなことでも見させていただいております。今現在下田こども園に通っておられる子どもの数で、次に3歳児に上がられる子どもの数を換算させていただいている部分と、0、1、2歳児の日枝中学校の今年度の待機児童数としましては、0歳児が1人、1歳児が2人、2歳児が4人ということで7人になっておりまして、この2歳児さんが次3歳児にあがられますので、0歳、1歳の方で、3人が待機になっているというような状況ですので、今現在も、下田に関しましては5人以上で受けさせていただいてこの状況ですので、そこは何とか踏襲できるのではないかと考えておりますし、また他にも、民間さんの方も来年努力していただけるのではないかなというような希望も持ちまして、このような構成にさせていただいております。と言いますのはやはりそれぞれの0歳児1歳児2歳児3歳児とその学年ごとの部屋の大きさでの配分というのもございますので、やみくもに0、1、2歳児が増えるからそこを増やすということはできないような状況があります。ですので施設全体の定員としては増やさせていただくというような考え方になって参ります。</p>
委員	<p>今の説明の中で、0、1、2歳児の保育士不足ということで、大変だということもよくわかりますし、この数字だけ見ると足りなくなった分を公立保育園で受けましたというのは、非常に望ましいことなんですが、ただ、この民営化に向けてそれぞれの法人さんについては、我々も保育士確保は非常に難しいのではないかとということを申し上げてきたところで</p> <p>各法人さんは確保できると自信をもって回答されておりましたので、今</p>

	<p>の現状に甘んじることなく、それぞれの民間施設は保育士確保に向けて実のある努力をするよう付帯していただくことが必要ではないかと思えます。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。おっしゃる通り、それぞれ民間さんの方もかなり努力していただいています。今度8月の末日に就職フェアということで、湖南市の民間の保育園、公立もなんですけれども、実行委員会形式で、保育士の就職フェアですね、湖南市独自のものをしていただきます。</p> <p>それ以外にも、先日も東近江の方で、県の就職フェアもあったんですけど、そこにも民間さんも出向いていっていただいて、保育士確保に努力をしていただいていますので、それぞれ同じ悩みなんですけども、そこを共有しながら、できるだけ保育士確保に向けて皆が一丸になって取り組んでいきたいというふうに思っておりますし、そのところの意識はすごくいただいているんですが、今現実として、なかなか確保ができないので、確保できたとしても、やはり新規採用職員の方が多いので、なかなかその保育のスキルを上げるまでに時間がかかるというようなこともあって、それまでの間、何とか公立の方で、何年か頑張っけて繋いでいきたいなど、そういうような状況でございます。</p>
委員	<p>わかりました。確かに新規の職員を入れると職員の教育のために、2倍3倍の時間と労力がかかる。それはもう十分わかります。でもまた育てていけないといけないので、その部分を、最終的には駄目なら市が受けましようということにだけならないように、ぜひ、開設されてる方々に、一層の努力というよりは、ある意味その義務を果たしていただくよ、ぐらいの形をぜひ進めていただき、意識として推進していただきたいと思えます。</p> <p>ありがとうございます。</p>
事務局	<p>公立が何もかも受けるのではなくて、できるだけ民間さんの方で受けていただいて、それが民間さんの方の営業ということにも繋がってこようかと思えますので、その部分はどうしてもフォローしていただけない部分を公立が担うというような考え方で進めて参りますのでどうぞよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>他にございますか。よろしいでしょうか。はい。今お2人の方からご意見が出ましたので、それを考慮していただきながら、この定員でいくということで、委員の皆さんご了解いただけるでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>そうしましたらそういうことで、進めさせていただきますのでこの定員で、よろしく願いいたします。</p> <p>続いて3号議案でございますが、子ども家庭総合センターというのが</p>

	できまして、その運営状況について事務局から説明をお願いいたします。
事務局	【子ども家庭総合センターの運営状況について（資料3、資料3-1）説明】
会長	はい。ありがとうございました。 実績を見させてもらって、全国的に言われてるのはコロナ関係で、虐待ですね。家庭で旦那さんも家にいる、奥さんも家にいる、子どもが虐待を受ける。また、コロナ離婚とか言われたりして、家庭が非常に不安定になってるといふこともあるんですけども、何かそういう相談が多いですか。湖南市はどうですか。
委員	家庭児童相談室ですが、確かにコロナ禍で、学校が休校であったということもありまして、あと、相談件数がちょっと減ってるなっていうこともありましたけれども、学校が再開したと同時に、子どもさんの聞き取りがしっかりできてくるということで、学校からの通報が増加したということも考えられますし、やっぱり家庭内でのいろいろとコロナに関して不安に思われる方は、経済的な不安もあっての、いろいろな問題も抱えておられるということで、いろんな種類の相談が増えております。
会長	公立の大きなところがリーダーシップをとって、やるということで、きてるわけですけども、HOPPA 石部南となって、その辺とかどうですか。新しいシステムになって。
委員	まず、圧倒的に先生の数が少なくなったのは、ちょっと不安はあって、加配とか、どうなってるのかなっていうのは、ちょっと思います。あと、コロナの影響なのかわからないんですけど、何か以前働かれてた先生が、訪問に来てくれるっていう話を民営化するときの説明会とかで、お聞きしてたんですけど、そういうのもされてるのかは、ちょっとこちらには、情報として入ってきてないんで。その辺、私の方からも、確認して欲しいなと思ってます。
会長	今のご意見についてどうでしょう。どうですか。行政の方。
事務局	今の件についてですけども職員の配置自体は、幼児施設課の方から監査に行かせていただいておりますが、認可の基準をクリアしているというようなことで確認はさせていただいております。 また、公私連携園につきまして、民間園への訪問指導に関しまして、旧の保育園の園長が定期的に訪問を行いまして、訪問結果につきまして幼児施設課の方で報告をまとめさせていただいているような状況です。それで何か課題があったり、問題があるようでしたら、幼児施設課の担当の方から指導助言などを行っていくというような流れで進めさせていただいております。
会長	よろしいでしょうか。

	<p>この件についてどうでしょうか。他にご意見ございますか、質問等よろしいでしょうか。それじゃあ今の現状についていろいろご説明をいただきました。次に4番目に参ります。資料の4でございますが、湖南省の学童保育所の利用状況について報告をお願いします。</p>
事務局	<p>【学童保育所の利用状況について（資料4） 説明】</p>
事務局	<p>すみません今の学童保育所の施設整備増築についてちょっと補足説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>1番の利用状況のところの4行目に、基本的に支援単位を増やす際は、小学校内等の施設を有効活用しながら、増加していくという、市の計画がありますが、下田小学校につきましては先ほども担当の方から報告がありましたように、日枝山手台の児童数の増加ということで、余裕教室、空き教室が小学校にはない。それから公共施設ということでは、近くには下田まちづくりセンターしかなく、活用できる公共施設がないというようなことで、やむなく、増設できるだけの敷地がありましたので、増設をさせていただいたというような経過になってございます。</p> <p>ですが、市の計画としましては、今後は小学校や空いた公共施設のスペースを使って学童保育所の展開を図っていくというような計画で進めさせていただいておりますのでご理解のほどよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>ご意見ございますか。</p>
委員	<p>学校の施設を使ってということなんですけれども、毎年、多分要請はされてると思うんですけど、菩提寺北小学校の学童保育所も一支援単位は学校の方に入ったんですけれども、もう一つの住宅地の中にある方は、学校の中に入るという計画はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>それは現在住宅地の中にあります、以前からある学童保育所のことですよね。そちらについてはその施設の状況、老朽化などを踏まえて、今後、まだ学校内になるかわからないですけれども、検討していかないといけないと思っております。すぐさま学校に入りますというようなことは今のところはないんですけれども。</p>
委員	<p>ありがとうございます。あと、学童保育所も公設の方と民営が何箇所かあるということは聞いているのですけれども、その中で、経営とかの見守りといいますか、そういったものは市の方からてこ入れとかあるのですか。というのは、公設の方ですと、ある程度運営もしっかりしてるけれども、保護者さんが運営しているところになると、なかなか運営がうまくいかないということがあって、私、菩提寺なんですけれども、菩提寺北と菩提寺の方の学童もそれで大分苦労した経緯があるのですが、他の学童さんでもそういうことがあり、ちょっと困っておられるということ聞き</p>

	<p>ましたので、そういうことを聞いておられるかなと思ひまして。</p>
事務局	<p>保護者さんが運営委員会ですとか保護者会で運営されている学童保育所が公設の方で一定ございます。やはりその中で、子どもを預けてるのに、例えば運営の方に役員として保護者が少しかかわらないといけないというような現状もあるのですけれども、そういった部分については、徐々に、市の方も相談を受けながら、解消を図っております。</p>
委員	<p>説明いただいたんですけども、確かに支援単位が増えると、補助金の方も増えてきまして、それを保護者の方が采配して運営していくってことはとても難しくなってきたと思うんです。</p> <p>私も運営に関して、よその学童さんからいろんなご相談を受けたりするのでございますけれども、うちも、運営委員会、保護者会で運営してはるのですが、やっぱり支援単位が増えると、いただける金額は多くなるんですが、それを扱っていくところに怖さを感じてるっていうところもあります。あと支援単位が増えるというところは、ありがたいことなんです、空き教室を貸していただけるとか、スペースを確保していただけるのはありがたいことなんです、それに見合う指導員を確保することも難しくなってきたというところも、ご理解いただきたいと思ひます。</p>
会長	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>それではこの項を終わらさせていただきます。続いて議事の5番目でございます。地域子ども・子育て支援事業の状況について、事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【令和元年度 地域子ども・子育て支援事業の提供状況について（資料5）説明】</p>
会長	<p>地域子ども・子育て支援事業の提供状況について説明がございました。何かご質問ございますか。現状はこんなふうになってるということ、教えていただいたというふうに思ひます。それでは、本日出ました意見等ですね、事務局の方は参考としていただいて、今年度以降の事業に役立てていただきたいと思ひます。</p>
委員	<p>私は名簿のところ、障がい児者とその家族支援ということで障がい分野から、この未来会議に委員として参加させていただいてます。</p> <p>その視点からなんです、今ご報告いただいた中で障がい児の状況がですね、なかなかデータの中に出てこないといひますか、そういう立場で入らせていただいても、現状どうなのかなということ、思ひながら今お話聞いてました。</p> <p>例えば先ほど出ました学童保育の話ですが、障がい児の子どもたち、障がいがある子どもたちは、放課後等デイサービスという福祉の施策があ</p>

	<p>りまして、学齢期の障がい子どもたちはそちらに行ってる子どもたちもいると思うんですが、そういう人数も同じ湖南省の子どものことですから、やはりこういうデータのどこかに出てこない、障がい児がやっぱり忘れ去られてしまうということが一つあります。</p> <p>それから、多分、学童さんにも、加配で行っておられる方もおられると思うんです。そういう方の実態も数として出てくると、なるほどなというふうに思いますので、今後そういうデータも出していただくとありがたいなと思います。</p> <p>なぜこういうことを申したかという、湖南省は、全国に先駆けて特別支援教育の取り組みを始められた、切れ目ない支援を実施されてる市の強みがありますので、そういう意味では、私達障がい児者支援をしているものからすると、湖南省の特徴でもあると思ってますので、それが具体的に少し見える形にさせていただくとありがたいなと思ったものですから。意見です。</p>
会長	<p>委員から貴重なご意見をいただきました。</p> <p>事務局の方よろしくお願ひします。他にご意見ございますか。全般について、よろしいでしょうか。それでは事務局の方から連絡ありましたらどうぞ。</p>
事務局	【連絡事項報告】
会長	それでは最後に副会長から一言ご挨拶を。
副会長	【副会長あいさつ】
事務局	<p>会長におかれましてはスムーズな司会進行ありがとうございました。副会長様もありがとうございました。本日いただいたご意見等をまとめさせていただきます。また次回の会議に反映できるようにさせていただきます。と思っています。</p> <p>皆様には限られた時間内で、熱心にご議論いただきましてありがとうございました。それでは閉会当たりまして、健康福祉部長より一言御礼申し上げます。</p>
健康政策部長	【健康福祉部長あいさつ】
事務局	以上をもちまして、本日の会議を開会させていただきます。委員の皆様ありがとうございました。

【11時10分終了】